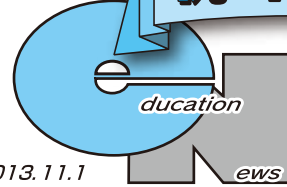


市教委だより

川越市教育委員会

祝・100号



2013.11.1

Kawagoe City Board of Education News



第7号（平成2年2月）
表紙「～市立博物館3月1日に開館～
川越の昔へタイムトラベル」



第36号（平成9年5月）
表紙「魅力ある学校をめざして」
（川越商業高等学校新校舎完成）



第57号（平成14年9月）
表紙「図書館へ行こう！」
（川越駅東口図書館開館）



第58号（平成14年12月）
表紙「川越市教育委員会
発足50周年記念特集号」



第75号（平成19年2月）
表紙「新しい校舎ができたよ！」
（月越小学校新校舎完成）



第84号（平成21年6月）
表紙「待つてたよ、仲よくしようね」
（古谷東小学校開校、古谷小学校と統合）

- ◆市教委だよりで振り返る教育委員会の歴史…… 2～3
- ◆写真で見る学校の今と昔・育英資金借り入れ申し込み案内…… 4
- ◆知っ得！文化財…… 5
- ◆教育相談Q & A・子どもが参加できる各種講座…… 6
- ◆子どもサポート委員会！…… 8

●100号発行にあたって●

皆さまのお力添えを頂き、今月号で100号を迎えることができました。これまで取材などのご協力を頂いた多くの皆さまに感謝します。今後とも、「市教委だより」をよろしく願います。



「あいさつ」

教育委員会委員長
梶川 牧子

本年四月一日、教育委員会委員長を拝命いたしました梶川牧子でございます。「市教委だより」百号発刊に際し、ご挨拶できますことを光栄に思っております。

本紙は、川越市の教育行政の現状や今後の方針をお知らせするという大変意義のある広報紙ですが、今後とも、本紙が市民の皆様との懸け橋として活用されることを願っております。

さて、この度の七年後のオリンピック、パラリンピックの東京招致というニュースは、子どもたちの世界に明るい希望をもたらしたことと思います。しかし、一方では、東日本大震災の復興もままならず、相変わらず多くの子どもたちが、故郷を遠く離れたり、仮設住宅での生活を余儀なくされていることも現実です。川越の子どもたちが、そのような困難に立ち向かう仲間たちに思いを馳せることができる「心の教育」こそが大切であると信じ、その実現に努力してまいります。

家庭と学校、地域、そして行政とが一体となって、二度とない子ども時代を健やかに、そして生き生きと過ごすことができますよう、皆さまのご協力とご理解を心からお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

おかげさまで100号



市教委だよりで振り返る教育委員会の歴史



創刊号（昭和63年7月）

発刊当初の市教委だよりは、B5版2色刷りの年4回発行でした。表紙の「発刊にあたって」のことは、当時の村田和男教育長が「本紙を通じて情報の提供にためながら、二十一世紀を指向した、よりよい川越市の教育の創造に意をつくしてまいります」と述べています。



教育委員会の主な出来事

- 昭和63年7月 教育広報「市教委だより」を創刊
- 平成元年5月 川鶴公民館開館
- 平成2年3月 教委事務局を組織改正し、管理部・指導部からなる2部5課12係体制となる
- 平成3年10月 博物館開館
- 平成4年9月 北公民館開館
- 平成5年4月 学校週5日制実施（月1回）
- 平成6年4月 第一現今成学校給食センター改築終了
- 6月 指導部に文化財保護課を新設
- 8月 2部6課15係体制となる
- 8月 市教委だよりがB5版からA4版サイズへ変更
- 平成7年4月 芳野学童保育室（芳野小学校内）開室
- 平成9年2月 これにより、全小学校区に学童保育室設置完了
- 平成11年4月 学校週5日制実施（月2回）
- 平成12年4月 川越商業高等学校新校舎完成
- 平成13年4月 小堤集会所改築開館
- 平成13年12月 教委事務局を組織改正し、生涯学習部・学校教育部からなる2部7課17係となる
- 平成14年4月 教育総合相談センター（リベラ）開設
- 12月 市教委だより50号発行
- 生涯学習部に国体推進室を新設
- 完全学校週5日制・新学習指導要領

教育委員会の情報を伝えて25年

市教委だよりが昭和63年7月1日に創刊されて以来、25年の歳月を経て、今月号で100号を迎えました。これを記念して、市教委だよりが誕生してから今までの教育委員会の歴史を、市教委だよりの紙面とともに振り返ります。

市教委だよりが創刊されたきっかけ

創刊する以前は、主に市広報に教育関係の記事を掲載していましたが、市広報は、市全体の情報紙であるため、行事・講座案内を除き、教育に関する記事（主に企画特集等）の掲載機会が少ないのが現状でした。

そこで、教育に対する重要性和関心が高まりつつある中、川越市の教育の現状や取組等についての情報をより詳しく、効果的に提供するなどの目的で教育委員会独自の広報紙が発行されることとなったのです。

創刊以来、その時々々の教育関連の出来事の特集記事を掲載するほか、シリーズ記事として、各学校や公民館などの「施設紹介」、昔めぐりかわごえ・むかしのあそびなどを紹介した「みんなのコーナー」などがありました。その中でも特に川越の文化財を紹介する「文化財シリーズ」、Q&A形式の「教育相談Q&A」は創刊当初から続く長寿シリーズです。



第56号 (平成14年5月)

平成14年4月、霞ヶ関北小学校が移転開校しました。以前の校舎の老朽化に伴う建設となりましたが、新しい霞ヶ関北小学校の特徴は、公民館(伊勢原公民館)・図書館(西図書館)と一体となった複合施設という点です。



第86号 (平成21年12月)

平成21年11月、国指定史跡「河越館跡史跡公園」が開園しました。公園は、次世代に伝えるべき貴重な史跡である河越館跡の保存を図るとともに郷土学習の場、市民の憩いの場として開放されています。

を市内小中学校で全面実施
霞ヶ関北小学校移転開校

伊勢原公民館開館(霞ヶ関北小学校内)
西図書館開館(霞ヶ関北小学校内)

川越商業高等学校を学科再編し、校名を川越市立川越高等学校に変更
川越駅東口図書館開館(クラッセ川越内)

教育委員会発足50年

教育委員会事務局移転(本庁舎5階から東庁舎1・2階へ)

国体推進室の廃止

生涯学習部に高階地区公共施設整備推進室を新設

菅間学校給食センター開設

学校教育部に学校給食課を新設

月越小学校新校舎完成

生涯学習部を教育総務部に名称変更

高階地区公共施設整備推進室の廃止

古谷東小学校閉校

国指定史跡「河越館跡史跡公園」開園

教育総務部に地域教育支援課を新設

文化及びスポーツに関する事務を市長部局へ移管

教育センター移転設置・教育総合相談センター(リベラ)の名称を教育センター(分室(リベラ))に変更

川越市立養護学校の校名を川越市立特別支援学校に変更

川越市教育振興基本計画策定

小学校新学習指導要領全面实施

中学校新学習指導要領全面实施

市教委だよりが年4回から年3回発行へ変更

市教委だより100号発行

平成25年11月

平成24年4月

平成23年2月

平成22年4月

平成21年3月

平成20年4月

平成19年4月

平成18年4月

平成17年8月

平成16年4月

平成15年4月

平成15年7月

「市教委だより」を彩ってきた企画

知っ得!文化財

名称を変えながら、創刊号から掲載されている企画記事です。川越市には、多くの文化遺産や歴史的建造物が残っています。身近にふれていただく機会とするため、市内に点在するさまざまな文化財を紹介しています。



第69号 (平成17年9月) 「時の鐘」

教育相談Q&A

創刊号から掲載されている企画記事です。子どもとの接し方についてのさまざまなアドバイスを掲載しています。現在、教育センター分室(リベラ)では、皆さまからのご相談をお受けしています。



第31号 (平成8年2月) 「授業に集中して取り組めない児童」「部活動を休みがちな生徒」

写真で見ると学校の今と昔

昔と比べて、今の子どもたちの学校生活は変わってきています。「小中学校」「時間割」「学校給食」を例に写真で振り返ってみましょう。



昭和の中央小学校
(建替前の校舎)

◆小中学校

市内の小中学校は、児童生徒の増加に伴い、昭和四十年代後半から五十年代にかけて建設され、昭和四十年代に小学校十六校・中学校十二校だったものが、昭和六十二年には小学校三十三校、中学校二十二校となりました。それと並行して、古い木造の校舎は鉄筋コンクリート造の校舎へ建て替えられていきました。



平成の中央小学校



昭和の授業風景

◆時間割

時間割は、平成四年に小学校一・二年生で社会科、理科が廃止され、生活科が新設されました。具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を培うことが目標になっています。また、平成十四年に学校週五日制が実施され、土曜日の授業がなくなりしました。更に、小学校三年生以上では中学校も含めて総合的な学習の時間が新設され、各学校で工夫した取組が進んでいます。平成二十三年には、コミュニケーション能力を育成することを目的に、小学校五・六年生で外国語活動が新設されました。



平成の授業風景
(電子黒板活用授業)



昭和63年の給食

＜献立＞・ツイストパン・牛乳・やきそば
・フルーツポンチ

◆学校給食

右の写真は昭和六十三年の給食を再現してみました。クリーム色のランチ皿や、先割れスプーンを懐かしく思う方は多いのではないのでしょうか？今は食器が変わり、おかずも一品増えました。子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは今も昔も変わりません。



平成25年の給食

＜献立＞・麦ごはん・牛乳・カレーライス
・ごぼうサラダ・冷凍ミカン



育英資金 ～借り入れ申し込み案内～

問い合わせ…教育総務課総務担当 TEL 224-6074

来年4月から高等学校・中等教育学校(後期課程に限る)・高等専門学校・短期大学・大学・専修学校に進学する方または在学中の方で、経済的に学資金などの支出が困難な方に、無利子で資金をお貸しします。

対象 (次の要件をすべて満たす方) …①市内に引き続き6か月以上在住している②経済的理由で、学資金や入学準備金の支出が困難である③心身健全で、かつ学業成績が良好である

償還期間…貸付期間の2倍(据え置き期間=卒業後6か月)

提出書類…①学資金・入学準備金借入申請書②校長の推薦書③成績証明書④健康診断書⑤住民票(家族全員のもの)⑥合格通知の写し⑦保護者全員の平成25年分源泉徴収票または確定申告書控えの写し

*①②の用紙は、教育総務課・市立中学校に用意してあります。市のホームページからもダウンロードできます。

(ホームページ=<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>)

*⑥は、申込期間後の提出も可能です。

申し込み…平成26年2月3日(月)～3月3日(月)(厳守)に教育総務課(市役所東庁舎2階)

区分	貸付額		
学資金(月額)	高等学校 中等教育学校 (後期課程に限る) 専修学校	国公立	13,000円
		私立	20,000円
	高等学校 大学(短期大学含む)		16,000円 30,000円
入学準備金	高等学校 中等教育学校 (後期課程に限る) 専修学校	国公立	150,000円
		私立	280,000円
	高等学校 大学(短期大学含む)		160,000円 360,000円

※貸付決定にあたっては、審査があります。申請された方全員に貸し付けが決定されるとは限りません。

知^し得^{とく} 文化財

知^しって^{とく}ち^{とく}よ^{とく}つ^{とく}と^{とく}
得^{とく}意^{とく}に^{とく}な^{とく}れ^{とく}る!

第25回「ブレスレットと鏡 ～三変稲荷神社古墳のはなし～」

小仙波四丁目にある三変稲荷神社古墳は、今から1,600年くらい前に造られた方墳(上から見ると四角い古墳)です。この古墳からは珍しい石製ブレスレットと銅鏡が発見されています。これらの出土品は何を物語るのでしょうか?

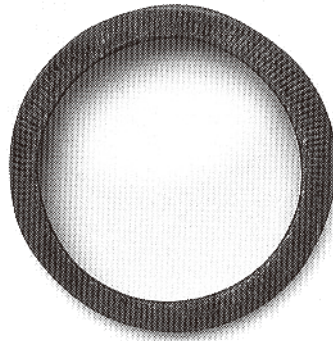
皆さんは、古墳を見たことがありますか。行田市のさきたま古墳群や教科書にのっている大阪府堺市の大仙陵(仁徳陵)古墳を思い浮かべる人もいるかもしれません。古墳は今から1,700年くらい前から1,300年くらい前まで造られた有力者のお墓です。こうした古墳は、実は皆さんの身近にもあります。

小仙波町四丁目にある三変稲荷神社古墳は、一辺20～25mの方墳です。この古墳は今から1,600年くらい前に造られたと考えられます。発掘調査では古墳の周りに並べられていた壺形ハニワのかけらがたくさん出土しました。また、遺体が埋められた古墳の頂上からはブレスレットと銅鏡が発見されました。

これらふたつの副葬品のうち、ブレスレットは弥生時代に流行した貝製の腕輪をまねたデザインで緑色の石でできています。銅鏡は「龍鏡」と呼ばれるもので、裏面に4人の神さまと4頭の獣の文様が浮き彫りされています。こうしたブレスレットや鏡は県内の他の古墳でも数点しか発見されていません。

石のブレスレットと銅の鏡。これらはいずれも近畿地方の中央政權が特別に作らせ、配下となった各地の有力者に贈った宝物と考えられます。

三変稲荷神社古墳は中央政權の力を借りて川越地方を治めた有力者のお墓だったので、ブレスレットと鏡は、遠い昔の川越を語る重要な手がかりなのです。

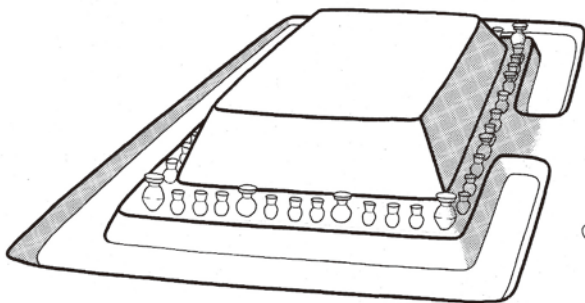


●石製ブレスレット
貝製の腕輪をまねたデザイン



●銅鏡
4人の神さまと4頭の獣の文様

三変稲荷神社古墳復元想像図



古墳の周りには
たくさんの壺が
並んでいるよ!

～11月は「いじめ撲滅強調月間」です～

埼玉県では、11月を「いじめ撲滅強調月間」とし、いじめの根絶に向けて集中的に取り組むことといたしました。いじめに遭ったり、気が付いたりしたら、一人で悩まずご相談ください。

県の電話相談窓口：子ども専用(18歳以下) 0120-86-3192 保護者専用048-556-0874 (24時間対応)

川越市のいじめ相談直通電話：049-234-8336 (月～金 午前8:30～午後5:30 土・日・祝日 午前9時～正午)

教育相談Q&A

◆忘れ物が多い小学生

【Q】小学五年生の息子を持つ親です。気の合う友達もいて、毎日元気に登校していますが、忘れ物が多く、授業中に先生から注意されることがたびたびあるようです。家に帰ってから、ランドセルはそのままで、すぐに遊びに出かけて行きます。机の回りも乱雑で、必要なものがすぐに見つかるのかと心配になります。親としては、そろそろ一人ですっきりと準備をしてもらいたいと思っていますし、忘れ物が多いことで周りの友達に「だらしない子」と思われなかつた不安です。どうすれば忘れ物をなくすことができるでしょうか。

【A】お子さんは、伸び伸びと成長されていますね。ただ、興味のあることが優先され、必要なことに注意が向かない様子が伺えますが、どうでしょうか。また、整理整頓が苦手なようですが、持って行くものがどこにあるかわからなくなってしまうことはあるでしょうか。自分の行動に責任を持つ大切さを自覚させて、自立への一歩にしたいところです。

そこで、なぜ忘れてしまうのかを考え、その上で、自分で気付き、準備できるような工夫を考えさせてみましょう。次のことを参考にしてみてください。

①生活のリズムを整える

帰ってきたら学校からのプリントを渡す、入浴前には次の日の時間割を調べる等、生活

に一定のリズムを持たせ、習慣化させましょう。「まだしてないの。」ではなく「明日使う教科書は入れたかな。」と具体的に声をかけ、できた時には褒めてあげてください。

②忘れ物をしない工夫をする

私たち大人は、手帳に予定を書き込んだり、目に付くところにメモを貼ったりして、忘れないように気を付けています。そこで、お子さんにも持ち物チェックシートを作ったり、連絡帳に気付いたことを書き加えたりして、忘れない工夫を考えさせてみましょう。記録する必要性や、それを生かす大切さを実感させてください。

③整理整頓の習慣を身に付ける

ランドセルを置く場所や学用品をしまう場所等を、自分で決めさせてみましょう。整理整頓を意識付けることで、防げる忘れ物はたくさんあります。

毎日の積み重ねが習慣になり、当たり前のこととしてできるようになります。お子さんの頑張りを認め、自立に向けて根気強く見守ってください。また、保護者会や個人面談の際、学校の机やロッカーの中は整頓されているか、次の授業の準備をしてから休み時間に行っているか等、担任の先生に学校の様子を聞いてみることも大切です。家庭での様子も相談し、協力をお願いしておきましょう。

教育センター分室（リベール）では、教育に関するご相談をお受けしています。

教育センター分室（リベール）

面接相談（予約制）：Tel 234-8333

電話相談：Tel 234-8335

11月～1月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
にちようおはなし会	毎週日曜日 14時30分～		中央図書館 Tel.222-0559
文化の日おはなし会	11月3日 14時30分～		
クリスマスおはなし会	12月18日 15時30分～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 15時～		西図書館 Tel.237-5660
クリスマスおはなし会	12月20日 ①11時～②15時～		
初笑いおはなし会	1月11日 14時～16時		
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～11時30分		川越駅東口図書館 Tel.228-7712
クリスマスおはなし会	12月20日 15時30分～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 Tel.238-7550 Fax 238-7551
あきのどうようスペシャルおはなし会	11月9日 14時30分～		
クリスマスおはなし会	12月19日 15時30分～		
ぬいぐるみおはなし会	1月22日 15時～ 申し込み=1月8日、9時30分から来館・電話またはファクス (定員10人)		

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
子ども体験教室 「ミニ掛け軸作り」	11月9日 ①10時～12時②13時30分～15時30分 申し込み=11月1日、9時から電話またはファクス	○	
子ども体験教室 「布ぞうりを作ろう」	11月16日 ①10時～12時②13時30分～15時30分 申し込み=11月2日、9時から電話またはファクス	○	
子ども博物館教室 「川越の文化財探検」	11月23日 10時～15時30分 申し込み=11月4日、9時から電話またはファクス	○	
子ども体験教室 「お正月飾りを作ろう」	12月14日 ①10時～12時②13時30分～15時30分 申し込み=12月1日、9時から電話またはファクス	○	博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「たこを作ろう」	12月21日 ①10時～12時②13時30分～15時30分 申し込み=12月3日、9時から電話またはファクス	○	
子ども体験教室 「まゆ玉飾りを作ろう」	1月11日 ①10時～12時②13時30分～15時30分 申し込み=1月5日、9時から電話またはファクス	○	
子ども体験教室 「土笛・土鈴作り」	1月25日 ①10時～12時②13時30分～15時30分 申し込み=1月7日、9時から電話またはファクス	○	
餅つきと鏡餅作りを楽しもう	12月21日 9時～11時30分 申し込み=12月13日必着で往復ハガキ(電子申請・ファクス可)		
たこを作ってたこ揚げをしよう	1月18日 9時～11時30分 申し込み=1月10日必着で往復ハガキ(電子申請・ファクス可)		中央公民館 TEL222-1394 FAX226-2006
節分会を楽しみましょう	1月25日 9時30分～11時30分 申し込み=1月17日必着で往復ハガキ(電子申請・ファクス可)		
子ども映画会	12月14日 14時～15時		
影絵・クリスマス公演	12月22日 10時30分～11時30分		高階公民館 TEL242-6064
たかしな子どもの遊びクラブ	2月9日 9時30分～13時 申し込み=1月11日、10時から来館(定員50人)		
子ども卓球広場	11月2日、12月7日、1月4日 13時30分～15時30分		
子ども囲碁将棋広場	11月16日、12月21日、1月18日 9時～11時	○	高階南公民館 TEL245-3581
たかしな子どもまつり	11月24日 10時～13時		
土曜子ども映画会	12月21日 10時～		
おもしろ実験室 「手作り電池で遊ぼう」	11月16日 9時30分～11時30分 申し込み=11月6日必着で往復ハガキ	○	大東公民館 TEL243-0022
おもしろ実験室 「万華鏡を作ろう」	2月15日 9時30分～11時30分 申し込み=1月ごろ募集開始	○	
冬休み子ども映画会	12月25日・26日 10時30分～12時		
集まれ!こどものひろば 「石と森の夢工房」	12月7日 10時～11時30分 申し込み=電話・ファクスまたは来館(定員30人)		
集まれ!こどものひろば 「たこを作ってたこ揚げをしよう」	12月14日 13時30分～16時 申し込み=電話・ファクスまたは来館(定員30人)		大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
集まれ!こどものひろば 「リース作り」	12月21日 13時30分～16時 申し込み=電話・ファクスまたは来館(定員30人)		
集まれ!こどものひろば 「新春カルタ大会」	1月11日 10時～11時30分 申し込み=電話・ファクスまたは来館(定員30人)		
集まれ!こどものひろば 「コマを作って回しましょう」	1月11日 13時30分～16時 申し込み=電話・ファクスまたは来館(定員30人)		
指編マフラー講座	12月14日 13時～15時 参加費500円 申し込み=11月29日、10時から来館(先着20人)	○	名細公民館 TEL231-0001
親子クッキング	1月18日 10時～13時 参加費800円 申し込み=12月14日、10時から来館(先着10組)	○	
第10回記念川越市生涯スポーツフェスティバル 「ふれあいコーナー」・「体力測定コーナー」	11月3日 8時30分～15時10分 会場=川越運動公園	○	スポーツ振興課 TEL224-6094
図工・美術わくわくフェスタ・ワークショップ (小中学生の作品展示とワークショップ)	11月4日 10時～15時30分	○	
11月のジュニア・アートスクエア 「カ・ラ・ダのカ・タ・チ」	11月30日 10時～12時 申し込み=11月1日、9時から電話またはファクス(定員20人)	○	
タッチアートコーナー・ワークショップ 「彫刻鑑賞法!てのひらでみる彫刻」	12月8日 13時30分～15時30分 申し込み=11月8日、9時から電話またはファクス (定員:中学生以上一般まで10人)	○	美術館 TEL228-8080 FAX228-7870
12月のジュニア・アートスクエア 「クリスマス特集～色と光で楽しもう」	12月21日 10時～12時 申し込み=12月3日、9時から電話またはファクス(定員20人)	○	
1月のアートスクエア 「国立美術館巡回展～カードでお宝探検!」	1月25日・26日 9時～16時	○	

※日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

※ 〇の教室は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

※「中学生」の欄に○がついている教室は、中学生にもお勧めの教室です。

ひと、ホット、ほっと! がんばる



子どもサポート委員会!

「はらっぱ」元気に活動中!

古谷地区子どもサポート委員会

古谷地区子どもサポート委員会では、古谷公民館と共催で土曜日学級「はらっぱ」を実施しています。九月には、地域の伝統行事「ほろかけ祭」の準備の様子を見学しました。

九月十四日(土)、古谷公民館に集合した子どもたちは、地域の皆さんとともに古尾谷八幡神社へ向かいました。途中の古谷本郷下公民館で、本物の「ほろ」を見学。ほろは全て手作りです。毎年新しく作り直すので、子どもたちはびっくり。きれいなほろを興味深く眺めていました。その後、神社の社務所で実際に使われる装束などを見せてもらいました。きらびやかな装束を見て「着てみたい」と話す子どももいました。地元の祭とはいえ、初めて知ったことも多く、子どもたちも目を輝かせていました。

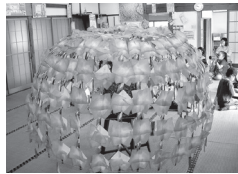


実際に使われる装束

古谷地区子どもサポート委員会では「はらっぱ」以外にも「親子たこあげ大会」などを他団体と協力して行っています。地域の皆さんに支えられ、子どもたちは豊かな体験を積み重ねています。



みんなで元気に出発!



手作りの「ほろ」

二つの地区で防災キャンプが開催されました

川鶴地区子どもサポート委員会

六月八日(土)・九日(日)、川鶴地区では、子どもサポート委員会主催による初めての子ども防災キャンプが実施されました。

会場となった川越西小学校では、第一部の防災体験として、地震体験車、水消火器、防火服試着、新聞スリッパづくりなどを行いました。第二部では、三角巾講座、非常食体験、緊急時を想定した救出ゲーム、宿泊体験を行いました。参加児童は、周りの友達と支え合いながら、大切なことを多く学びました。

南古谷地区子どもサポート委員会

第十回南古谷地区子ども防災キャンプが八月二十三日(金)・二十四日(土)に砂中学校で開催されました。

この防災キャンプは、青少年を育てる南古谷地区会議や自治会など多くの地域の人々との連携と協力によって運営されています。「子どもたちに生き残れる力をつけさせましょう」というスローガンのもと、参加した子どもたちが防災について楽しく学ぶとともに助け合いの気持ちを養う良い機会となりました。



地震体験車・川越なまず号



三角巾のしぼり方の説明



中学生によるカレーの配膳



消防士さんと一緒に放水訓練

オールマイティーチャーター配置事業



山田中学校の臨時講師・吉田翔治さん

川越市では、各学校におけるさまざまな課題に対応するため、臨時講師(オールマイティーチャーター配置事業による)を今年度から配置しています。山田中学校では、保健体育科の臨時講師を配置し、複数の教員によるきめ細かな指導の充実を図っています。これにより、生徒の授業に取り組む姿勢に変化が見られ、自主性や積極性、規範意識の向上等の効果が出ています。

新規事業



大規模改造工事



初雁中学校の校舎外壁



初雁中学校のトイレのoshi

夏休み期間中、南古谷小・大東東小・初雁中・城南中学校の4校で大規模改造工事を実施しました。今年度から、老朽化した学校施設の改修を目的として、校舎外壁の塗り替えや、教室の全面改修、トイレの洋式化などを実施する大規模改造工事を順次進めてまいります。夏休みが終わって登校してきた子どもたちからは、ピカピカになった校舎に驚きの声や喜びの笑顔が見られました。